

## 1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業への取り組みはおおむね良好である。  
しかしながら、理解度にはばらつきがあり、基本的な計算問題を挙げても、解き終わるまでのスピードに大きく差が出ている。
- (2) 提出物に関しては、1学期現在、重要視されていない面もある。  
中身の理解まで至らず、指定されたページを「こなして」いる生徒も少なくない
- (3) 授業の演習中には友達に聞く生徒も見受けられ、そこで理解を深め合っていた。
- (4) 1時間ごとのめあてを提示し、テーマを絞った授業づくりを行う。

## 2 改善の計画

- (1) 長期休暇に基本的な計算問題を含む課題を出し、計算力アップにつなげる。
- (2) 提出物の内容理解に至るよう、同程度の難易度の小テストを実施し、主体的な学びにつなげる。
- (3) 理解を深めるために、四人組を基本にした友達同士の教えあいの時間をとる。
- (4) 身近な事象を導入として扱い、興味をもって授業へ取り組めるよう工夫する。  
めあてを明確にし、生徒の理解度に合わせて授業を展開する。

## 3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを実施し、変容を見る。
- (2) 各テストの結果を分析し、授業改善を行う。
- (3) 考査内容も教科で共有し、問題の精査に努める。